

協働の指針 第4章（素案）

第4章 協働によって期待される効果、成果

◆自分たちのまちは、自分たちで「つくり」・「そだて」・「まもる」という主体的な活動が行われる

⇒地域内の困りごとが解決でき、住みやすいまちになります。

◆地域内や団体内において、気軽に相談できる

⇒困りごとの共有や解決スピードが速くなります。

◆自分たちがまちづくりの主役になる

⇒できることから楽しみながら活動できます。

◆様々な団体(主体)が情報を発信し合う

⇒つながり(交流)が生まれ、輪(和)が生まれます。

◇部会員の意見

・困りごとが解決する。

・住みよい環境づくりが、きれいなまちを作っていく。

・互助(団体内での助け合い)

・できることから始めることが大切。

・楽しいまち、明るいまち

・住み続けたいと思えるまち

・困りごとの解決が早い

・連携、交流

・輪(和)が広がる